

## 吾輩は「受け口」である

彦根市立旭森小学校 5年 森 琥太（こうた）

吾輩は「受け口」である。名前は琥太である。どこで生まれたかという、滋賀県彦根市だが、生まれた時のことは全く覚えていない。なんでも、小さい頃はよく指しゃぶりをしていたそうだ。ふだんから受け口とか、しゃくれていると言われたことはないが、僕の最高の笑顔はいつも受け口だ。そして、1年に1回、学校で行われる歯科検診では、咬み合わせにチェックが入っているので病院に行かなくてはならない。ぼくは、気にしていない。だからまだ病院には行っていない。

ぼくが小さいころ、お母さんは僕の指しゃぶりの事を心配していた。定期健診の時も先生に相談していた。そこでは「いつか治りますよ」と言われていたと聞いた。なんでお母さんは受け口を気にするのか分からない。僕は、三食食べているし、勉強しに学校まで頑張って登校しているし、大好きなサッカーも毎日できるし、幸せな毎日だと思っている。受け口の何が悪いのか。

いい歯について考えるのは2年目である。去年は「歯がきれいだととても印象が良い」と書いた記憶がある。僕の受け口は笑顔の時に発動する隠し兵器だ！

そこで、僕はお兄ちゃんの携帯電話を使って受け口と調べてみた。受け口に悩んでいる人もいる。何でだろう。受け口でもサッカーはできる。「受け口」と検索すると嫌な事ばかり出てくる。

①滑舌が悪くなる。

僕の話はよく聞き取れないのか。僕がサッカーで声を出しているのは聞こえにくかったのか。これは、サッカーが大好きな僕にとっては最悪だ。

②体の調子が悪くなる。

だけど僕は健康だ。僕の夢はサッカー選手だ。でも、歯がきれいに並んでいないと咬み合わせがダメなようで、使う筋肉にばらつきが出ると書いてある。腰の痛みが出てきたらサッカーが出来ない。これは最悪だ！

③受け口を治して「カッコイイ」を手に入れたい。

僕は今、小学5年生だ。少しくらいはモテたい。受け口はモテないのか。これは最悪だ！

サッカーで声を出しても僕の声が聞き取りにくい、受け口を治さないと腰が痛くなってプレーが出来ない。そしてモテない。大好きなサッカーが出来なくなるかもしれないと思うと、お母さんと一緒に病院に行ってみようかな。今までよりもサッカーが上手になって。モテモテになったらと思うと楽しくなってきた。

僕は、歯について考えているだけなのに、サッカーにはとても重要な事だと思った。ありがたい、ありがたい。